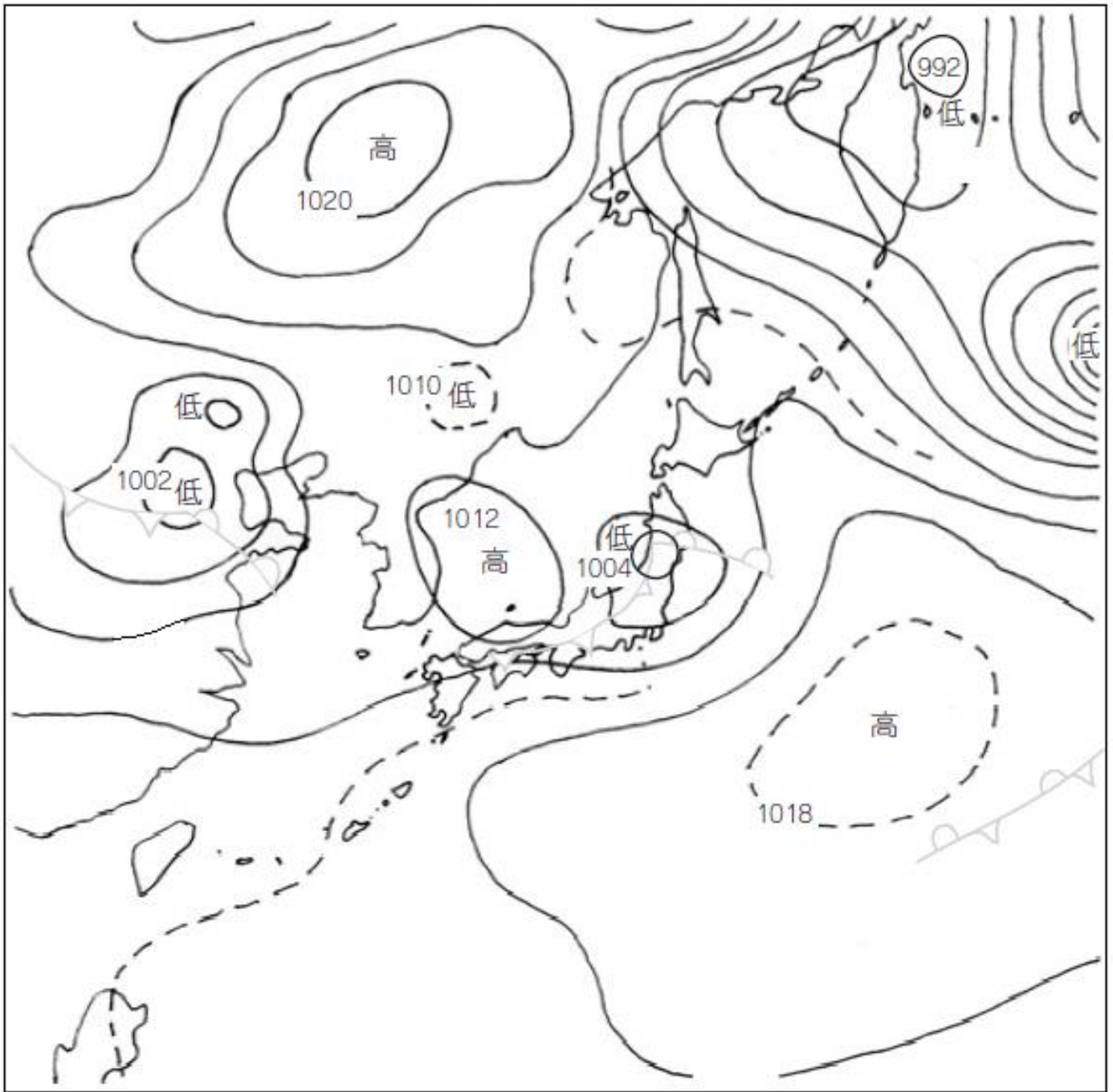


# 天気図はここに注目！ 低気圧と高気圧・前線

①これは2007年3月29日9時の天気図です。



## 【作業】

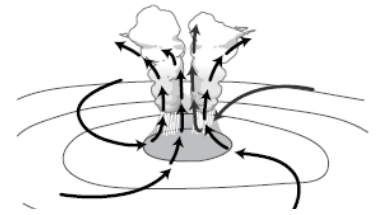
- 高気圧に青で色をぬりましょう。……（ ）になるところ。
- 低気圧に赤で色をぬりましょう。……（ ）になるところ。
- 温暖前線に赤で色をぬりましょう。……過ぎると気温は（ ）くなる。
- 寒冷前線に青で色をぬりましょう。……過ぎると気温は（ ）くなる。
- 1000hPaの等圧線を青でなぞりましょう。1012hPaの等圧線を赤でなぞりましょう。

## 【問題】

- (1) ユーラシア大陸にある高気圧の中心気圧は何hPaですか？
- (2) 天気図には4つの低気圧が描かれていますが、それぞれの中心気圧は何hPaですか？
- (3) 雨が降っていると思われる部分を色ペンなどでうすく斜線で塗ってみましょう！

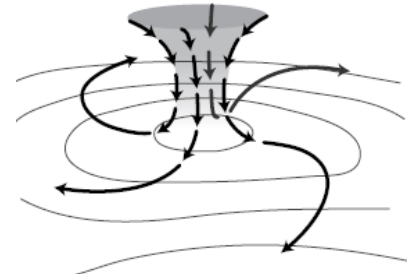
●低気圧

低気圧は軽い空気なので、上に上がっていきます。まわりからそこに空気が流れこんでいきます。これが風です。空気がどんどん上がっていくと、冷やされて雲ができます。雲がどんどん同じ所に重なっていくので、低気圧があるところは（ ）ができて（ ）がふりやすくなります。



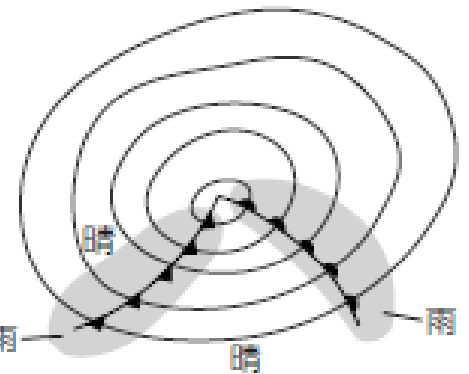
●高気圧

高気圧は重い空気なので、下に下がっていきます。下に下がるとまわりに空気が広がっていきます。これが風です。雲やしめった空気もまわりに散っていくので、高気圧があるところは天気がよくなります。

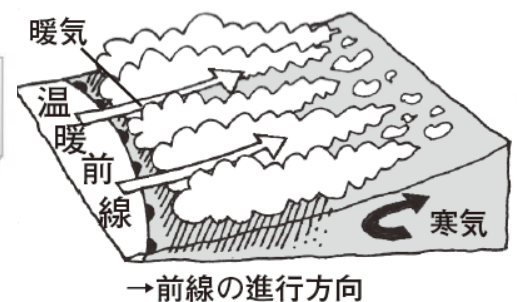
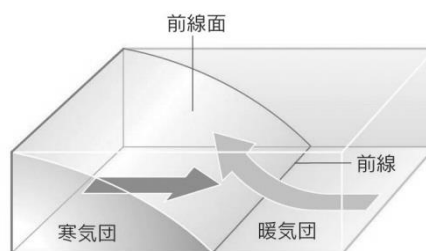


●前線

暖かい空気と冷たい空気がぶつかるところは（ ）とよばれます。前線では（ ）ができ、（ ）がふりやすくなります。前線の南側が（ ）気団、北側が（ ）気団ということになります。これらのことを知っていると、天気予報をするコツがつかめます。左側の図をよ〜く見てみましょうね！



暖気団と寒気団は性質が異なっており、2つの気団が接しても両方の空気はなかなか混じりあいません。この接している面を（ ）といい、前線面が地表と交わる線を（ ）といいます。どちらか一方が強く押している場合、冷たい空気はあたたかい空気に比べて重いので、前線面では暖気の下に寒気がもぐりこんだり、暖気が寒気の上に昇っていったりします。さらに、強い方の気団がじわじわともう一方の気団を押し進みますから、前線がとおり過ぎると、気温が急に変化するのがふつうです。前線が通るときはほぼ（ ）がふり、通過した後は天気が回復に向かいます。



寒気が暖気の下にもぐりこみながら押している場合を（ ）といい、暖気が寒気の上に昇りながら押している場合を（ ）といいます。  
 寒冷前線が通った後は気温が（ ）ます。そして、天気は（ ）ます。  
 温暖前線が通った後は（ ）なり、その後（ ）ます。